

# 令和4年度 GIGA校内研修 実践報告

学校名 県立鹿西高等学校

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	転入者向け導入研修[転入者および希望者へ講義・実習] (Classroom・Jamboard・スプレッドシート・Form・ロイロノートなど)	GIGAリーダー	GIGA校内研修推進リーダー研修第1日
5月	オフラインでの活用について[全体] (オフラインモードでのドキュメントやスプレッドシートの利用方法の紹介)	GIGAリーダー	GIGA校内研修推進リーダー研修第2日
6月	(教科における主体的・対話的で深い学びにつながる授業の研究)	(各教科)	
7月	教科における実践事例の発表①[全体]	GIGAリーダー 発表教科教員	

中間目標  
 ・各教員が生徒自身が主体的で深い学びを生み出すための授業についての考えを持つ。  
 ・生徒、教員ともに、オフラインモードについて知り、Wifi環境がない中でも取り組めることについて理解をする。

8月	教科における実践事例の発表②[全体]	オフラインでの活用についての全体研修を行ったことで、教員、生徒ともに活用の幅が広がっている。	GIGAリーダー 発表教科教員	GIGA校内研修推進リーダー研修第3日
9月	(個人における授業研究)			センター希望研修への参加
10月	校内相互授業参観期間①		GIGAリーダー 教務主任	
11月	校内相互授業参観期間②	全教員による授業参観を実施している。	GIGAリーダー 教務主任	
12月	校外向け公開授業①		教務主任 管理職 各教科	

中間目標  
 ・各教員が「生徒自身が主体的で深い学びを生み出すための授業」を設計してみることができる。また、各教員の実践を参観し、よりよい授業を作るにはどうしたらよいかという視点で、主体的に意見を交わし、授業に対する理解を深める。

1月	校外向け公開授業②		教務主任 管理職 各教科	
2月	教科における、研究・実践の振り返り[各教科]		(各教科)	
3月	GIGAの取り組みの振り返りと今後に向けて[全体]		GIGAリーダー	

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

### ★学びをもたらす授業の形★

◎教員は生徒が探究サイクルを意識できるような問いの設定をする。

◎生徒は問い(学習テーマ)に関連することを調査し発表する過程で、新たな気づきや課題を発見し、さらに学びを深める。

### ★1つ1つの過程を充実させるためのICT活用★

○資料(史料)について、生徒自身が拡大表示し特徴を細部まで確認したり、資料(史料)に書き込みをしたりすることで学びにつなげる。また、観察・実験をカメラ機能で記録しておき、考察する際に、再度その情報に立ち返りながら、事実を確認したり、問題解決の糸口を探ったりする。

○生徒同士がChromebook上で意見や考えを目に見える形で共有し、グルーピングなどを通して思考を深めたり、問題解決に活かしたりする。

端末を活用した授業を積極的に実践してきた結果、端末を「文房具」のように活用している生徒が見られるようになってきている。

### 成果

全校生徒に端末が貸与され、常に利用できるため、教員・生徒ともに積極的に活用。アプリの使用や協働編集機能の活用が1年目よりも格段に進む。端末を「文房具」のように活用している生徒も見受けられるようになった。

主体的・対話的で深い学びの観点からの授業改善を教科内で研究するきっかけが与えられたことで、生徒の学びの質を高めることについて、教員の意識が変化した。

### 課題

「全員がとにかく1つ授業実践をしましょう」という形で実践を行ったため、その授業と前後のつながりの意識が薄くなっている。今後は継続的な主体的・対話的で深い学びの観点からの授業改善の意識、すなわち、「単元を貫く問い」を意識した単元計画を各教科で検討し、その計画をもとにした授業実践を行っていくことが重要となる。